カタチには理由（ワケ）がある(171)

Shape follows Function
& Taste

～ウェストランド・ウェセックス(Westland Wessex)HAS3

(←米国海軍のシースプライトと　↓ホワールウインドと)

本機ウェセックスは、ウェストランド社の前作ホワールウインドと同じく、シコルスキーから H-34 型のライセンスを取得して製作されています。オリジナルが星形のレシプロエンジンを搭載しているのに対して、これをターボシャフトエンジンに換装しており、トナカイのような長鼻が特徴となっています。当初、HAS.1 は対潜ヘリコプターとして作成されましたが、背中に対空監視レーダー用のレドームをレトロフィットすることで万能哨戒機である HAS.3 に改装されました。なお、機首のエアインテイク内に見える球体はエンジン火災時の消火剤が入っているタンクだそうです。また、主脚タイヤのハブが大きく外側に張り出しており、ここに海面への不時着時に作動するエアバックが収納されています。

【模型について】

ドイツレベル(Revell)社 1/72 のインジェクションキットです。しかし、その胴体やローターのモールドは明らかにイタレリのシコルスキーH-34 と共通で、金型製作の段階でイタレリ社と共同開発したものと思います。イタレリ社製の高水準なヘリコプターキットと同じで、ブレードの垂れ下がりがパーツ状態で成型されているなど苦労することなく組み上げることができます。ただ、このキットは機首エアインテイクカバーを付けるタイプを選択できるためか、この部分が塞がっているため、中央及び左右を開口して中央開口部には実機と同じくメッシュをはめ込みました。ここから覗く消火剤タンクには釣り用の錘を使ってます。

（中川裕幸　2025 年 6 月）